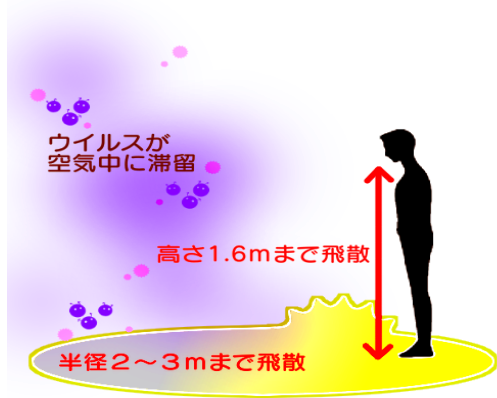
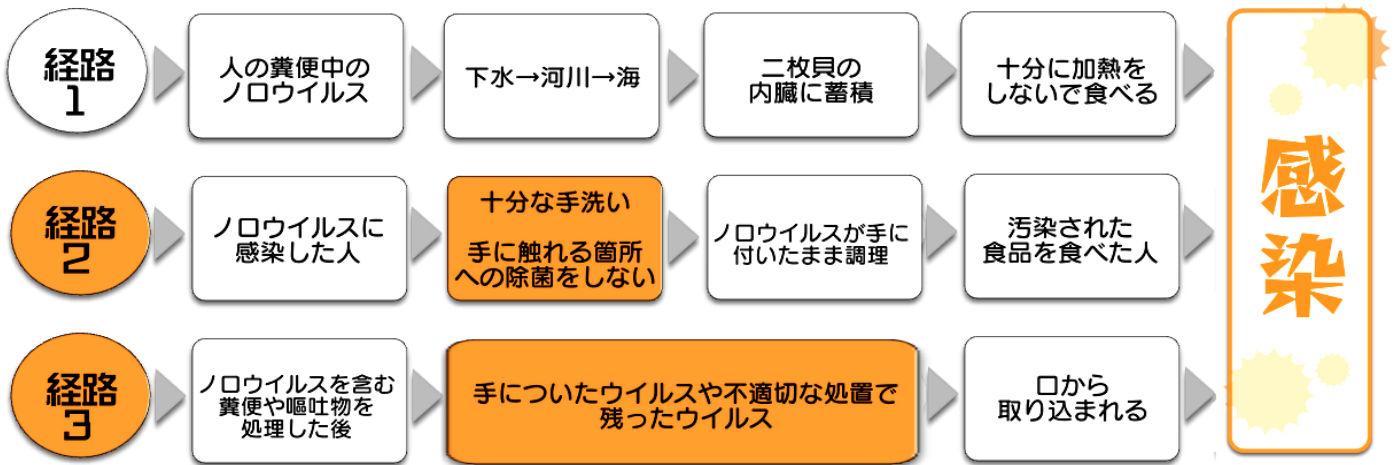


# ノロウイルスとは

- ◆ 感染力が非常に強く、100 個以下の菌数でも人に感染し、感染性胃腸炎の原因となる。  
(患者のふん便や嘔吐物には 100g に 100 万から 10 億個のウイルスが含まれる)
- ◆ 食品中では増殖せず、腸管内で増殖する。
- ◆ アルコールでは効果がなく、乾燥、熱にも強いので 85℃で 1 分以上の加熱が必要。  
※ノロウイルスに、ピエリモ(次亜塩素酸水溶液)または次亜塩素酸ナトリウムでの除菌は有効
- ◆ 一年中発生するが、冬季に流行ることが多く、集団感染もしやすい。
- ◆ 感染後 24~48 時間で、下痢・吐き気・おう吐・腹痛・発熱などの症状が出る。  
(通常 3 日以内に回復するが、ウイルスは感染してから 1 週間程度ふん便中に排泄され続ける。)

## ●感染経路●



ノロウイルスの感染のほとんどが口から体内にウイルスが入って感染する経口感染によるもので、

高さ約 1m から床に嘔吐した場合、ウイルスを含む微小粒子が発生し、1 時間以上空気中に滞留するため、

ふん便や嘔吐物の処理は、処理をする人自身への感染と施設内への汚染拡大を防ぐため、適切な方法で、迅速、確実に行うことが必要です。

※嘔吐物の処理後 48 時間は感染の有無に注意してください。

※嘔吐物の処理時と処理後は換気を十分に行いましょう。

## ピエリモを使ったノロウイルス対策

### ●手に触れる箇所への除菌●

《手すり・ドアノブ・取っ手・冷蔵庫(特に手の触れる開きの部分など)・水道の蛇口など》

清掃後、原液~4 倍希釈したピエリモをムラなくたっぷりとスプレーし、きれいな布巾等でふき取ってください。

### ●十分な手洗い●

《用便後・排泄物、嘔吐物の処理後・調理前・食事前など》

石鹸を使い十分にこすり洗いをし、水で洗い流すことによりウイルスは大幅に減少します。

手拭き用タオルは共有せず、ペーパータオル等を使い毎回タオルを交換するか個人用タオルを利用し、ピエリモで手指の除菌を行いましょう。

※水道の蛇口は洗う前の手で触れているので、手と一緒に洗うかペーパータオルなどを利用して蛇口を締めると手の再汚染を防ぐことができます。

# 排泄物・おう吐物の処理

## 準備しておくもの

- 除菌剤ビエリモ(200ppm) ●使い捨て手袋 ●マスク ●使い捨てエプロン
- シューズカバー●ペーパータオル ●ビニール袋 など



マスク・シューズカバー・使い捨てエプロン・手袋を着用する。

1



水浸しになるまで汚物にビエリモをスプレーする。

2



ペーパータオルをかぶせる。

3



外側から内側に向けて、折り込むように静かに拭き取る。

4



使用したペーパータオルなどは、すぐにビニール袋に入れて密封して処分する。

5



汚物の入ったビニール袋と汚物処理後の室内にビエリモを多めにスプレーする。

6



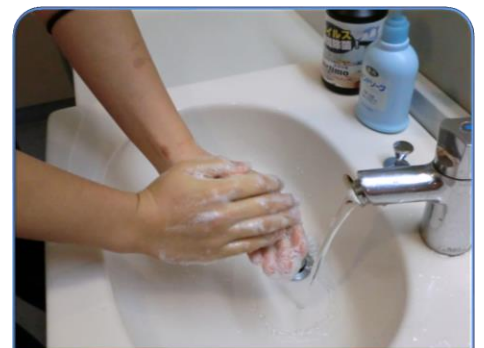
汚物が付着していた床とその周辺はペーパータオルで覆いビエリモで浸してから拭く。

7



処理時に使用したビエリモや着用していたものは6のように処分する。

8



処理後は手袋をはずし十分な手洗いをを行いビエリモで除菌する。

9

※手袋やエプロンの汚物が付着しないよう裏返しなごはす。